

軽費 / 特養 / 高齢者在宅サービスセンター / サービス付き高齢者向け住宅 / ケアハウス / グループホーム / 小規模多機能 / 看護小規模多機能

No. 364 号

2023年(令和5年)7月

〒190-0022 東京都立川市錦町6-28-15 TEL 042-527-0031(代) FAX. 527-2646

発行人：旭 博 之

編集：広報委員会

ホームページ：http://www.shisei.or.jp/

Eメール：shisei-home@shisei.or.jp

Shisei Senior Service Center

おかげさまで5施設が周年を迎えます

至誠和光ホーム・立川市柏地域福祉サービスセンター・至誠ホームスオミ
国分寺地域包括支援センターほんだ・至誠ホーム調布柴崎ケアセンター

至誠和光ホーム 開設60年目を迎え

至誠和光ホーム 園長 中川 謙 夫

1963年8月7日は、至誠和光ホームが開設した日です。そして、2023年8月7日で開設から60年を迎えることになります。

軽費老人ホームA型という施設である至誠和光ホームは、60歳以上の東京都民の方で、健康状態や収入等一定の条件を満たしていればどなたでも入所申込ができる施設として、これまで多くのお元氣な高齢者の生活の場となってきました。

今も昔も入居者の皆様は、日中は自由に外出し、施設内では助け合いの風土の中で、食事やクラブ活動、季節の行事といった集団生活を楽しんでいる姿を見ることが出来ます。

節目の年を迎え、改めて古い資料を取り出し写真を見えますと、入居者の皆様がおそろいのジャージを着て敷地内の広場で運動会をしている様子や、飛行機を利用して集団で旅行している様子など確認することができ、「老人ホームでそんなことまでできたのか」と驚いておられます。

当時の様子はまさに、至誠ホームが現在もテーマとしている『明るく、健康的で豊かな高齢期の生活づくり』を彷彿とさせるものであり、地域の皆様にそれをわかりやすくお示しできる施設の一つであったのではないかと思います。

時代は変わり令和の現在、日本の高齢者福祉制度も大きく変わりました。今は高齢者施設と言えば、多くの方が特別養護老人ホームや老人保健施設といった介護を必要とする方向けの介護保険施設をイメージするのではないのでしょうか。

そして、比較のお元氣な高齢者が生活する場としては、様々な高齢者向け住宅や施設が選択肢として存在する時代となりました。

そのように時代が変わっても、至誠和光ホームが事業を継続できているのはひとえに多くの方のご支援・ご協力の賜物と思っております。施設と関係する全ての皆様に対し、ここに感謝を申し上げます。

これからの職員一同感謝の心を忘れずに、現在入居している皆様の『明るく、健康的で豊かな高齢期の生活づくり』に貢献できるよう努めてまいります。



立川市柏地域福祉サービスセンター開設30周年を迎えて

立川市柏地域福祉サービスセンター センター長 鈴木伸行

立川市柏地域福祉サービスセンターは、多摩モノレール泉体育館駅から西側へ徒歩5分程度歩いた「都営柏町一丁目アパート11号棟1階」にあります。

開設は平成5年5月で、立川市で初めての公設民営型サービスセンターとしてスタートしました。

開設当初は介護保険制度がまだ誕生しておらず、老人福祉法による措置制度によって

- ①現在の一般デイサービス・定員15名、
 - ②現在の認知症デイサービス・定員7名
 - ③通所入浴サービス事業・定員4名
- (寝たきり等の高齢者を送迎して施設入浴サービスを提供)

の3事業を運営していました。

当時、都営アパートに地域福祉サービスセンター(当時の高齢者在宅サービスセンター)を併設するのは先駆的な取り組みで、行政や福祉関係者など多くの方が視察に来られたそうです。

写真(下)は開設当初の納涼祭の様子で、踊ったり、歌ったり、楽しい夏の時を過ごされていたそうです。

立川市柏地域福祉サービスセンターは今年で開設30周年を迎えましたが、現在は「居宅介護支援事業所(ケアマネジ



ヤー)」「一般デイサービス・定員30名」「認知症デイサービス・定員12名」を運営しています。

またその他に立川市から市内13カ所あるシルバークリア(高齢者集合住宅)の内8カ所の生活援助員配置事業の委託を受けて、入居されている高齢者の暮らしを支えています。

今後高齢者が地域で安心して暮らせる街づくりを目指し、地域に根ざした運営をして参りますので、ご支援ご鞭撻のほど宜しくお願い致します。

スオミ開設20周年を迎えて

至誠ホームスオミ 園長 井上富士子

スオミはこの4月で開設20周年を迎えました。平成15年4月の開設でした。

「スオミ」とは北欧フィンランドそのものを意味する自国名です。フィンランドは高齢者福祉の先進国であり、それをモデルにして命名されました。正面玄関の定礎には、橋本正明相談役とその夫人であるライヤさんによる「Suomi」ともに生きる」が刻まれています。

スオミは軽費老人ホームであるケアハウス定員50名、認知症対応型共同生活介護(グループホーム)1ユニット9名とレストランを併設しております。新しい高齢期のライフスタイルを提案した画期的な住まいの誕生でした。

スオミケアハウスにおいては、居室環境の充実もありプライバシーも守られながら、文化活動・健康づくり・社会参加の3本柱を掲げ自立と共生の生活の実現を目指してきました。

居住者のみならず地域の方々との交流も推進してきました。ここ数年は、コロナ禍で思うような活動が継続できなくなりましたが、現在では居住者自ら活動を立ち上げ自主活動として麻雀・健康体操・囲碁将棋・茶道教室等を行っております。

また一方では、高齢・虚弱化も進んできています。できるだけスオミでの生活が継続できるように必要時は介護保険も導入しながら支援しており、グループホームにおいても、その人のもてる力を引き出しながら共生の生活づくりを支援しております。

ご存じのようにスオミは、ケアハウス・グループホーム・サービス付高齢者向け住宅せせらぎの3つの事業を運営しています。現在に至るまで皆様のご支援のおかげでつがなく運営させていただいております。

これから30年、40年と、居住者が安心して豊かな生活が続けられるように努力して

いきたいと思います。今後とも変わらぬご支援をよろしくお願い致します。



国分寺地域包括支援センターほんだ 開設10周年を迎えて

至誠国分寺ケアセンター センター長 長畑達也

国分寺市から委託を受けた高齢者の総合相談窓口である国分寺地域包括支援センターほんだ（以下、包括ほんだ）は2013（平成25）年10月に開設し今年で10周年を迎えました。

包括ほんだは市内地域包括支援センターのエリア再編による新規プロポーザルにより当法人が選ばれ、それまで国分寺地域包括支援センターもとまち（以下、包括もとまち）が担当していた2町域（本町、本多）に新たな1町域（東恋ヶ窪）を加え開設することになりました。開設時のセンター長は現・諏訪国分寺ブロック長、管理者は現在、包括もとまちに在籍している曽根職員でした。ちなみに市内全6ヶ所の地域包括支援センターのうち包括ほんだ、包括もとまち、包括なみきの3センターの委託を当法人が受けています。

包括ほんだは国分寺駅北口から徒歩10分程度の国分寺市商工会館の3階にあります。担当エリアは市の中心部（市街地）で商業施設はもとより高齢者に関する施設や事業所も多く存在し、恵まれた場所に立地しています。また、この10年で国分寺駅北口駅前広場の開発やシティタワー国分寺（2棟の高層ビル）の建設

など大きな変貌を遂げており、若い世代の流入も進んでいます。

現在の包括ほんだは、管理者の櫻井チームリーダーを中心に片岡副主任、矢羽々職員、渡邊職員、向井職員、高頭職員の6名体制で日々、介護保険サービスの利用や権利擁護（成年後見制度の活用等）、介護予防等に関する相談、地域のネットワーク作りなど様々な役割を果たしています。唯一の開設メンバーである矢羽々職員によると、この10年で世帯全体の課題に対応する相談が増えているなど変化を感じているとのこと。また、包括ほんだの強みは異動等で新しく入ってきた職員を迎える丁寧な姿勢や経験豊富な職員が多いことで地域からの信頼が厚いことを職員一同自負しております。

最後に、地域の皆様から更なるご信頼を頂きながら15周年、20周年を迎えられるよう私以下職員が丸となり日々の役割を果たしていきたいと思っています。



至誠ホーム調布柴崎ケアセンター開設10周年を迎えて

至誠ホーム調布柴崎ケアセンター センター長 吉岡正晶

平成25年4月、「至誠ホーム調布柴崎ケアセンター（以下、調布柴崎という）」は調布市柴崎の地に開設されました。「至誠ホーム調布若葉ケアセンター（平成24年開設）」に次ぎ、至誠ホームとして調布で2番目の拠点です。

調布柴崎は、甲州街道に面した場所に位置し、建物前面の赤いモニュメント（通称「赤門」）が大きな目印でした。甲州街道を車で走っていると、その赤門がパッと目に入るくらい印象的かつ斬新な外観でした。今でこそ多くの事業体が介護分野に進出し、様々な広告や看板で事業所PRに努めています。調布柴崎の開設当時はまだ福祉分野はあえて控えめで目立たないことに留意する傾向がありました。そこで来て『至誠ホームはここです！』と、あえてド派手にその存在を主張するかなのような調布柴崎の赤門は、まさに新天地での「決意表明の象徴」であったのだと思います。

調布柴崎は令和3年10月、徒歩3分の場所に新事務所を移転しました。高齢者のよろず相談所である「調布市地域包括支援センター」と、ケアプラン作成・介護相談を主業務とする「居宅介護支援事業所」の2事業を展開しております。現

在の事務所には赤門はありませんが、赤門の心意気は新事務所にも確実に引き継がれています。

2023年4月、調布柴崎は11年目に突入しました。今後も法人理念である「まことの心」の実践に努め、一層、地域の高齢者福祉に尽力して参ります。至誠ホーム調布柴崎ケアセンターを今後もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

写真下…旧事務所
写真左…現在の事務所





感染症対策も考えた会場設営

去る6月3日(土)至誠ホームのけやき広場で「令和五年 至誠ホーム 感謝のつどい」和光ホーム60周年、柏センター30周年、スオミ20周年、ほんだ・調布柴崎10周年」が開催されました。

至誠ホームを挙げての行事は4年ぶりでした。コロナ感染防止対策の上、ステージが変わっても、様々な面で慎重な対応が必要と思われました。時間は10時から12時で短時間とし、サンドイッチ等の軽食としました。



令和五年 至誠ホーム 感謝のつどい開催される

実行委員リーダー
統括事務局総務主任 伊藤愛美
統括事務局経理主任 澤口孝浩



上：挨拶をする稲永理事長/右：感謝状を贈呈する旭ホーム長



また、前日からの台風は大型で、雨や風でテントが飛んでしまわないかと皆々で心配していました。全く、幸いなことに雨も風もやみ、さわやかな風が吹く中で会は行われました。

72回を迎える「感謝のつどい」は、日頃ご協力をいただいている援助協力者の方々、永年後援会の方々、ボランティアの方々へ感謝の気持ちをお伝えする会ですが、この場をお借りして永年勤続職員



ヌサンタラの皆さんによるインドネシアの伝統舞踊の披露（職員も一緒に）

の表彰も行っております。今回も稲永理事長・旭ホーム長・梅田後援会会長の挨拶の後、後援会の皆様59名、援助協力の方2名、ボランティアの方8名、永年勤続職員108名への表彰がありました。

後援会会員の原忠昭さん、援助協力の水越榮子さん、ボランティアの本間和吉さんから代表のご挨拶をいただきました。皆様、大変お気持ちのこもったお話で、私共の励みとなるご挨拶でした。

橋本正明相談役の乾杯の発声で、にぎやかに歓談の時間が始まり、会場には笑顔が広がっていました。

アトラクションの時間も設けました。至誠ホームには現在、フォーリンスタッフ64名おりますが、インドネシアからの職員が6割以上を占めています。そのインドネシアの伝統舞踊をヌサンタラの皆さんが披露してくださいました。さらにびやかな衣装・優雅な舞に魅了され、また、最後の曲目では来場した皆様と一緒にダンスし、会場は非常に盛り上がりま

した。最後に至誠ホームの歌を合唱し、楽しい時間を共有できた素敵な日となりました。

久しぶりの行事ということで不安もありましたが、皆さんの笑顔を見られて、本当に幸せな気持ちになりました。

当日お越しいただいた皆様、忙しい中準備してくれた職員、そして、実行委員のメンバーに改めて「ありがとう」の感謝の気持ちをお伝えし、当日のご報告とさせていただきます。

これからも至誠ホームへの引き続き変わらぬご支援・ご協力をどうぞよろしくお願い申し上げます。

感謝状贈呈者名簿（敬称略）

援助協力者 感謝状 2名

水越榮子 田辺弘子

後援会会員 感謝状 59名

5年（6名）

浅見義明 寺本雅信 南部 浩

宮下皆子 横田照夫 鷺沢美美

10年（19名）

アオキ住宅機材販売(株)代表取締役社長

米山鐘一 飯沼電気(株)飯沼克美

伊藤英雄 及川清一 及川悦子

大澤早智子 太田清勝 木宮和子

小松 滋 小松万壽子 三中西博介

地引 憲 下田光江 内藤 博

野末正江 原 忠昭 堀江登代子

水越 豊 渡辺正志

15年（10名）

太田 利 大橋とし江 御野秀雄

谷口一美 林 のり子 広木かほる



5年 (37名)	秋山 豊	荒井照夫	岩木信幸
10年 (2名)	寺本一俊	中村さと子	
15年 (1名)	中澤京子	本間和吉	
20年 (2名)	鶴巻清子	山本佳子	
25年 (4名)	井上富士子	岡田勝広	橋本 茂
30年 (1名)	船橋優子		
35年 (5名)	伊東清子	高部 博	林 介
45年 (2名)	山崎郁子	(有)三上鯉節店 代表取締役社長 三上康子	
55年 (1名)	岩木信幸	菅野 栄	
ボランティア	感謝状	8名	
3年 (1名)	星 喜美子		
5年 (2名)	寺本一俊	中村さと子	
10年 (2名)	中澤京子	本間和吉	
15年 (1名)	鶴巻清子		
20年 (2名)	池田三郎	山本佳子	
永年勤続職員	表彰	108名	

10年 (34名)	新垣ひとみ	五十嵐 守	石井沙季
15年 (20名)	青沼佳乃子	井上久美子	魚住由紀子
20年 (11名)	笈川 梢	小澤宏之	川鍋 治
25年 (1名)	五島美菜子	土方素史	吉上晴美
30年 (2名)	荒井 央	奥脇光子	
35年 (2名)	鈴木篤	佐藤 守	
40年 (1名)	藤井和子		
45年 (2名)	岩木信幸		
50年 (1名)	山崎郁子		
55年 (1名)	岩木信幸		
60年 (1名)	山崎郁子		
65年 (1名)	岩木信幸		
70年 (1名)	山崎郁子		
75年 (1名)	岩木信幸		
80年 (1名)	山崎郁子		
85年 (1名)	岩木信幸		
90年 (1名)	山崎郁子		
95年 (1名)	岩木信幸		
100年 (1名)	山崎郁子		
105年 (1名)	岩木信幸		
110年 (1名)	山崎郁子		
115年 (1名)	岩木信幸		
120年 (1名)	山崎郁子		
125年 (1名)	岩木信幸		
130年 (1名)	山崎郁子		
135年 (1名)	岩木信幸		
140年 (1名)	山崎郁子		
145年 (1名)	岩木信幸		
150年 (1名)	山崎郁子		
155年 (1名)	岩木信幸		
160年 (1名)	山崎郁子		
165年 (1名)	岩木信幸		
170年 (1名)	山崎郁子		
175年 (1名)	岩木信幸		
180年 (1名)	山崎郁子		
185年 (1名)	岩木信幸		
190年 (1名)	山崎郁子		
195年 (1名)	岩木信幸		
200年 (1名)	山崎郁子		
205年 (1名)	岩木信幸		
210年 (1名)	山崎郁子		
215年 (1名)	岩木信幸		
220年 (1名)	山崎郁子		
225年 (1名)	岩木信幸		
230年 (1名)	山崎郁子		
235年 (1名)	岩木信幸		
240年 (1名)	山崎郁子		
245年 (1名)	岩木信幸		
250年 (1名)	山崎郁子		
255年 (1名)	岩木信幸		
260年 (1名)	山崎郁子		
265年 (1名)	岩木信幸		
270年 (1名)	山崎郁子		
275年 (1名)	岩木信幸		
280年 (1名)	山崎郁子		
285年 (1名)	岩木信幸		
290年 (1名)	山崎郁子		
295年 (1名)	岩木信幸		
300年 (1名)	山崎郁子		
305年 (1名)	岩木信幸		
310年 (1名)	山崎郁子		
315年 (1名)	岩木信幸		
320年 (1名)	山崎郁子		
325年 (1名)	岩木信幸		
330年 (1名)	山崎郁子		
335年 (1名)	岩木信幸		
340年 (1名)	山崎郁子		
345年 (1名)	岩木信幸		
350年 (1名)	山崎郁子		
355年 (1名)	岩木信幸		
360年 (1名)	山崎郁子		
365年 (1名)	岩木信幸		
370年 (1名)	山崎郁子		
375年 (1名)	岩木信幸		
380年 (1名)	山崎郁子		
385年 (1名)	岩木信幸		
390年 (1名)	山崎郁子		
395年 (1名)	岩木信幸		
400年 (1名)	山崎郁子		
405年 (1名)	岩木信幸		
410年 (1名)	山崎郁子		
415年 (1名)	岩木信幸		
420年 (1名)	山崎郁子		
425年 (1名)	岩木信幸		
430年 (1名)	山崎郁子		
435年 (1名)	岩木信幸		
440年 (1名)	山崎郁子		
445年 (1名)	岩木信幸		
450年 (1名)	山崎郁子		
455年 (1名)	岩木信幸		
460年 (1名)	山崎郁子		
465年 (1名)	岩木信幸		
470年 (1名)	山崎郁子		
475年 (1名)	岩木信幸		
480年 (1名)	山崎郁子		
485年 (1名)	岩木信幸		
490年 (1名)	山崎郁子		
495年 (1名)	岩木信幸		
500年 (1名)	山崎郁子		
505年 (1名)	岩木信幸		
510年 (1名)	山崎郁子		
515年 (1名)	岩木信幸		
520年 (1名)	山崎郁子		
525年 (1名)	岩木信幸		
530年 (1名)	山崎郁子		
535年 (1名)	岩木信幸		
540年 (1名)	山崎郁子		
545年 (1名)	岩木信幸		
550年 (1名)	山崎郁子		
555年 (1名)	岩木信幸		
560年 (1名)	山崎郁子		
565年 (1名)	岩木信幸		
570年 (1名)	山崎郁子		
575年 (1名)	岩木信幸		
580年 (1名)	山崎郁子		
585年 (1名)	岩木信幸		
590年 (1名)	山崎郁子		
595年 (1名)	岩木信幸		
600年 (1名)	山崎郁子		
605年 (1名)	岩木信幸		
610年 (1名)	山崎郁子		
615年 (1名)	岩木信幸		
620年 (1名)	山崎郁子		
625年 (1名)	岩木信幸		
630年 (1名)	山崎郁子		
635年 (1名)	岩木信幸		
640年 (1名)	山崎郁子		
645年 (1名)	岩木信幸		
650年 (1名)	山崎郁子		
655年 (1名)	岩木信幸		
660年 (1名)	山崎郁子		
665年 (1名)	岩木信幸		
670年 (1名)	山崎郁子		
675年 (1名)	岩木信幸		
680年 (1名)	山崎郁子		
685年 (1名)	岩木信幸		
690年 (1名)	山崎郁子		
695年 (1名)	岩木信幸		
700年 (1名)	山崎郁子		
705年 (1名)	岩木信幸		
710年 (1名)	山崎郁子		
715年 (1名)	岩木信幸		
720年 (1名)	山崎郁子		
725年 (1名)	岩木信幸		
730年 (1名)	山崎郁子		
735年 (1名)	岩木信幸		
740年 (1名)	山崎郁子		
745年 (1名)	岩木信幸		
750年 (1名)	山崎郁子		
755年 (1名)	岩木信幸		
760年 (1名)	山崎郁子		
765年 (1名)	岩木信幸		
770年 (1名)	山崎郁子		
775年 (1名)	岩木信幸		
780年 (1名)	山崎郁子		
785年 (1名)	岩木信幸		
790年 (1名)	山崎郁子		
795年 (1名)	岩木信幸		
800年 (1名)	山崎郁子		
805年 (1名)	岩木信幸		
810年 (1名)	山崎郁子		
815年 (1名)	岩木信幸		
820年 (1名)	山崎郁子		
825年 (1名)	岩木信幸		
830年 (1名)	山崎郁子		
835年 (1名)	岩木信幸		
840年 (1名)	山崎郁子		
845年 (1名)	岩木信幸		
850年 (1名)	山崎郁子		
855年 (1名)	岩木信幸		
860年 (1名)	山崎郁子		
865年 (1名)	岩木信幸		
870年 (1名)	山崎郁子		
875年 (1名)	岩木信幸		
880年 (1名)	山崎郁子		
885年 (1名)	岩木信幸		
890年 (1名)	山崎郁子		
895年 (1名)	岩木信幸		
900年 (1名)	山崎郁子		
905年 (1名)	岩木信幸		
910年 (1名)	山崎郁子		
915年 (1名)	岩木信幸		
920年 (1名)	山崎郁子		
925年 (1名)	岩木信幸		
930年 (1名)	山崎郁子		
935年 (1名)	岩木信幸		
940年 (1名)	山崎郁子		
945年 (1名)	岩木信幸		
950年 (1名)	山崎郁子		
955年 (1名)	岩木信幸		
960年 (1名)	山崎郁子		
965年 (1名)	岩木信幸		
970年 (1名)	山崎郁子		
975年 (1名)	岩木信幸		
980年 (1名)	山崎郁子		
985年 (1名)	岩木信幸		
990年 (1名)	山崎郁子		
995年 (1名)	岩木信幸		
1000年 (1名)	山崎郁子		

2022年度 至誠ホーム 決算報告

至誠ホーム
副ホーム長兼統括事務局長
金井 裕一

5月31日(水)第359回理事会で決算案は承認されました。事業活動収入は33億9千万円であり、事業活動支出は33億3千万円でした。

その結果、経常収支差額は約5千3百万でした。借入金の償還も含めた当期資金収支差額はマイナス1億3千万円でした。昨年度との比較では8千万円程度の改善と見えますが、積立金を取り崩した対応の結果です。

ホームの人員不足は変わらず、空床ユニットの解消に繋がらず、コロナ感染の影響と光熱水費等の物価高騰もあって、結果として当年度も収益赤字の状態が続きました。

昨年度から至誠ホーム「財政健全化策」を推進し、ホーム全体で取り組んで来ま

至誠ホーム収支計算書概要

(2022年4月1日～2023年3月31日)

単位：千円

	介護保険事業	その他の事業	合 計
事業活動収入	3,064,806	323,662	3,388,468
事業活動支出	2,964,284	371,024	3,335,308
事業活動資金収支差額	100,522	△47,362	53,159
当期資金収支差額	△52,348	△78,028	△130,376

※本部会計を含む

至誠ホーム借入金状況

(2023年3月31日現在) 単位：千円

借入先	期末残高
福祉医療機構	2,279,065
金融機関	490,432
合 計	2,769,497

した。収入を増やし、支出を抑える方策です。業務委託見直しプロジェクトを行なった結果、経常活動収支額5千万円は達成することが出来、2年間の取り組みは、一定程度の成果となりました。

今後は空床ユニットの解消に向けフォーリンスタッフと正職員との職場での役割分担と連携がスムーズとなるよう指導して参りたいと思います。

2023 年度ボランティア受入
福祉学習協力状況

令和 5 年 4 月～令和 5 年 5 月 ※ GH: グループホーム

施設名	事業名	一般 V	V 体験	計	累計
至誠特別養護老人ホーム	特 養	43	0	43	43
至誠ホームアウリンコ	特 養	6	0	6	6
	通所介護	2	0	2	2
生活アクティビティ		9	0	9	9
至誠和光ホーム	軽費老人ホーム	3	0	3	3
至誠ホームスオミ	ケアハウス	0	0	0	0
	G H	0	0	0	0
至誠コミュニティセンター	いこいの場	0	0	0	0
至誠調布若葉ケアセンター	通所介護	0	0	0	0
	G H	0	0	0	0
至誠ホームニオ	特 養	16	0	16	16
	ショート	0	0	0	0
	看護小規模多機能	0	0	0	0
至誠ホームキートス	特 養	119	0	119	119
	通所介護	16	0	16	16
至誠柏ヶ丘ケアセンター	通所介護	4	0	4	4
至誠ホームミナ	小規模多機能居宅介護	80	0	80	80
	特 養	0	0	0	0
	G H	0	0	0	0
至誠国分寺ケアセンター	通所介護	6	0	6	6
計		304	0	304	304

2023 年度至誠ホーム利用者状況

事業内容	4 月	5 月	累計
ふれあい夕ごはん事業	212	201	413
自主事業			
利用者数	21	20	41
保養ステイ事業（和光）	9	8	17
保養ステイ事業（スオミ）	0	0	0
通所介護（至誠アクティブセンター）	65	36	101
短期入所生活介護			
至誠ホームアウリンコ	460	404	864
至誠ホームキートス	292	432	724
至誠ホームオンニ	10	50	60
通所介護			
至誠ホームアウリンコ	515	568	1,083
調布若葉ケアセンター	590	625	1,215
至誠キートスケアセンター	844	877	1,721
至誠柏ヶ丘ケアセンター	663	716	1,379
至誠国分寺ケアセンター	478	555	1,033
訪問介護			
至誠コミケアセンター	632	653	1,285
至誠キートスケアセンター	624.5	669.5	1,294.0
小規模多機能			
至誠ホームミナ	630	637	1,267
至誠ホームオンニ	327	416	743

※入居施設定員

至誠特別養護老人ホーム 96 名、至誠ホームアウリンコ 129 名、至誠ホームキートス 70 名、至誠ホームミナ小規模特養 29 名、至誠和光ホーム 50 名、至誠ホームスオミ・ケアハウス 50 名、至誠ホームスオミ・グループホーム 9 名、調布若葉ケアセンターグループホーム 18 名、至誠ホームミナグループホーム 18 名

※サービス付き高齢者向け住宅せせらぎ 15 戸 サービス付き高齢者向け住宅フラット「菜」7 戸

※訪問介護は提供時間

※利用延日数

ホーム日誌

2023 年 4 月 1 日～2023 年 5 月 31 日

CH... ケアハウス、GH... グループホーム

錦... 錦地区 至誠特養 ア... アウリンコ

多... 多摩川ブロック 和... 和光ホーム ス... スオミ

キ... キートスブロック

国... 国分寺ブロック 調... 調布地区 オ... オンニ

4 月

2023 年度辞令交付式

3 月 至誠学舎創設者墓参

4 火

5 月

お地蔵様供養

10 水 決算案報告会

11 木 会計監査人監査報告 監事監査

23 火 会計監査人監査報告 監事監査

26 金 絆観音御法要(国)

31 水 理事会

※新型コロナウイルス感染症対策のため、一部中止・延期となつての行事があります。

感謝録

温かい御支援・御協力を下さいました方々に厚く御礼申し上げます。(敬称略)

2023 年 4 月 1 日～2023 年 5 月 31 日

① 金員の部

下東玲子 濱崎裕子 (株)関山代表取締役社長関山高一

板谷誠一 種村和江 西村一夫 安本善理

浅見義明 (株)東京ボン・サンテ代表取締役社長長林守

江口三枝子 小川 隆 小野千代 上岡謙夫

君島臣孝 佐藤真弘 高松信幸 中山昭八郎

南部 浩 橋本 茂 藤田三千代 矢野慶子

横田照夫 渡辺由紀子 高部 博 伊藤英雄

竹ヶ原郁子 菊池礼子 古林昌子 安本善衛

安本サヨ子 佐藤さち 高山忠久 高山俊子

渡辺正志 大倉秀夫 泊 房枝 長谷川英子

保谷正幸 渡邊綾子 五十嵐明子 坂口孝憲

林のり子 中畑津和子 佐藤典子 清水早苗

井田礼子 下田光江 及川悦子 及川清一

桑原千代子 倉本 宣 島田 壽 熊澤和枝

(株)サンプロス代表取締役馬場弘行 太田清勝

地引 憲 岡村加巳 高久征子 アオキ住宅機材販

売(株)代表取締役社長山鐘一 アオキ住宅機材販売(株)青木

憲明 (有)梅田経営センター代表取締役梅田春生

桃野幸子 福田修一 大古春子 水田康子

小松 滋 小松万壽子 荒井キミ 戸田理一

② 物品の部

(株)常総カントリークラブ代表取締役松浦一彦

中野由美子 グローリージャパン(株)(社福) 東京都

社会福祉協議会東京善意銀行 渡辺祐子

(株)川原経営総合センター「ふくろう会」事務局

岡部千津 シナジールワールドワイド・ジャパン合同会社

末末洋子 和田久夫 荻原清子

久野紀代子 宮村シキ子 松平俊子 18 件(延 18 件)

③ ボランティア

(一) 一般ボランティア(錦地区)

【立川市】 太田 利 木村千世子 境田美夏

鈴木幸子 寺島英子 永野和江 野村哈爾美

平澤基幸 水野美鈴 山本英明

【日野市】 山根浩子 渡部敏明

【国分寺市】 ともしび法話会 天野宏淳 押見大俊

久我俊太 原山佑成 吉長洗大 渡辺秀憲 延 65 名

一般ボランティア(コミホーム) なし

一般ボランティア(オンニ) なし

一般ボランティア(キートス) なし

【立川市】 柏町隣人会 池田三郎 井上孝行

笠間久子 高橋好弘 鶴巻清子 寺本一俊

栃木房義 中野庸夫 中村さと子 星 喜美子

本間秋子 本間和吉

【国分寺市】 勝倉ナホミ 神宮路久枝 山本佳子

齋藤久美子 田久保妙子 横川澄子 延 135 名

【他市】

一般ボランティア(柏センター) 延 4 名

小林好子



後援会加入の お 願 い

皆様方の温かいご支援とご協力
をお願い申し上げます。お申し
込みは下記事務所へ

至誠ホーム事務局

立川市錦町 6-28-15 TEL. 042-527-0031

至誠ホームキートス

立川市幸町 4-14-1 TEL. 042-538-2323

至誠ホームミンナ

国分寺市並木町 3-12-2 TEL. 042-300-3700

会 費 2,000円以上
会 長 梅 田 春 生



《振込口座》 ゆうちょ銀行
口座番号：00120-9-32523
口 座 名： 高齢者総合福祉施設至誠ホーム後援会

福祉学習協力

2023年4月1日～2023年5月31日

① 実習研修

◎社会福祉士

東京医療保健大学10名(1日、オンライン)

② 体験学習

なし

③ 見学・視察

東京厚生信用金庫2名(1日)

※新型コロナウイルス感染症対策のため、見学等の受
入を制限しています。

一般ボランティア(ミンナ)
〔国分寺市〕 栗原克徳 小倉 諭

一般ボランティア(もともち)

〔国分寺市〕 国際文化理美容専門学校

一般ボランティア(調布若葉)

なし

一般ボランティア(調布紫崎)

なし

ボランティア体験

〔錦〕 (相センター) (キートス) (ミンナ)

〔もともち〕 (調布若葉)

なし

延80名

延6名

後援会コーナー

後援会費納入者ご芳名(敬称略・順不同)

誠に有難うございました。厚くお礼申し上げます。
ます。令和5年4月1日～令和5年5月31日

大古春子

水田康子

水越榮子

杉原メリ子

吉上沙紀

太田 利

伊藤信子

奥 陽子

綿引紀子

ービス

飯沼電気(株)飯沼克美

大館純子

村瀬博子

田代啓美

清水紀代子

佐藤晏子

近藤親則

出浦康子

田中章司

渋谷まさみ

鳥山八重子

桑原一雅

伊東清子

岸邦夫

柳サボートジャパン

小倉 諭

師岡恵美子

高橋雪子

篠田紀子

中野節子

鷺沢美美

山下清超

田口正良

小松 滋

水越 豊

井上富士子

岩木信幸

櫻井悦子

武内俊一

Yショップ柳澤代表者柳澤元一

寺島英子

横田昌子

熊谷育子

長尾洋子

宮川典子

土方一成

林 美保

松本孝子

浅見富江

大橋とし江

三中西博介

橋本ライヤ

酒井敦子

神谷良江

岡田勝広

美容室かぐや姫代表取締役根

名久井トシ子

中野満佐美

益子総一郎

師岡幸太郎

高橋明子

内田 務

三石和美

伊藤康子

松本美代子

高橋直子

西久保加代子

宮田政江

以上88名

地域包括支援センターコーナー

立川市北部中さいわい地域包括支援センター 042(538)2339
立川市にしき福祉相談センター 042(527)0321
国分寺地域包括支援センターもともち 042(401)0035
国分寺地域包括支援センターなみき 042(300)3702
国分寺地域包括支援センターほんだ 042(300)2339
調布市地域包括支援センター至誠しばさき 042(488)1300

「認知症サポート月間」

調布市地域包括支援センター至誠しばさき
認知症地域支援推進員 柴 元之

皆さん、毎年9月が「認知症月間」とな
っていることを知っていますか？

1994年「国際アルツハイマー病協会」
は、世界保健機関と共同で毎年9月21日を
「世界アルツハイマーデー」と制定し、こ
の日を中心に認知症の啓発を実施していま
す。また、9月を「世界アルツハイマー月
間」と定め、様々な取り組みが日本でも行
われています。

私の担当している調布市では、3年前より
「認知症サポート月間」の名称で市民の
方への啓発活動と認知症当事者の方や家族
介護(ケアラー)の方へ様々な取り組みを
進めておりますので、今回ご紹介させてい
ただきます。

調布市内には、地域包括支援センターが
8か所(サブセンター2か所の計10か所)
あり、それぞれに認知症地域支援推進員を
配置し認知症施策を推進しています。

今年、市内で認知症のシンボルカラー
であるオレンジ色の花を咲かせる「オレン
ジガーデニングプロジェクト」を春から企

画し、市内の特養・有料老人ホーム・デイ
サービスなど福祉関連から病院や薬局、訪
問看護ステーションなどの医療関係機関、
市民の方々も商店街や工場・マンション・
団地・公園・個人宅までたくさんの方に協
力をしていただいております。オレンジ色
のお花を育てながら認知症の理解を深めて
いただけるように普及啓発の花を市内に咲
かせていくことと取り組んでいます。

それ以外にも、チームオレンジの活動
(当事者や認知症サポーター講習会修了者を
中心に行う活動)に向けた講習会や9月は
認知症月間の目玉となるシンポジウムの開
催を予定しています。また「認知症に優し
い街づくり」に向けて、福祉医療関係事業
所がそれぞれ独自に企画し、展開をしてい
ます。市内の通所事業所、入所施設、当事
者個人など沢山の作品を集めギャラ
リーに展示するなどワクワクしていただけ
るような企画で盛り上げています。
調布市にお越しになることがあれば、ぜ
ひお立ち寄りください。

高齢期を元気に過ごす!! 専門職からコンポイント!

正しい水分補給で

熱中症を予防しよう!



至誠ホームオン二 管理栄養士 堀江真生

熱中症とは、気温や湿度の影響で体温の上昇やめまい、けいれん、頭痛などのさまざまな症状を起こす病気のことです。

熱中症の原因の一つには脱水症があり、熱中症予防に水分補給は欠かせない要素となります。

脱水とは?

私たちの身体の半分以上は水分で出来ており、この水分は体液と呼ばれています。脱水とは体液が失われ、必要な水分と電解質が不足している状態です。生命維持に欠かせない水分は、体重に対し2〜3%程の減少で軽度の脱水症状が現れるため、健康を維持するためには、体内の水分量を一定に保つ必要があります。

こまめな水分補給で脱水を予防!

体液を一定に保つため、出て行ってしまう量に見合った水分を摂取する必要があります。のどの渇きは、2%程度の水分が失われると感じるようになり、既に軽度の「脱水」状態となっています。しかし、水分を摂取してもそれが体に浸透するのに20分程度かかり一度にたくさんの水分を摂っても身体はうまく吸収することができず、尿となって排泄されてしまいます。つまり、水分はこまめに少

しずつ、のどが渇いたと感じていなくても意識的に摂ることが大切です。特に水分が失われやすい起床時や運動の前後、入浴の前後、就寝前はしっかりと水分を補給する必要があります。

塩分(電解質)も一緒に補給しよう!

体液は真水ではなく、ナトリウムやカルシウム、カリウム、マグネシウムが含まれています。

汗にも同様にナトリウムをはじめとしたミネラルが含まれているため、汗をかけたときには塩分も含わせて摂取することが重要です。

身体は水分と水分が失われた状態で水分のみ補給した場合、水分だけが薄まってしまうため、身体は体液を濃さを元に戻そうと

水分を尿として排泄してしまいます。結果として補給した水分が体内に残らず、体液量が回復していない状態となります。つまり、3

食の食事をしっかりと摂り、ミネラルを定期的に補給しておく必要があります。

熱中症を予防する為に

3食の食事をしっかりととり、こまめな水分補給を心がけましょう

福祉車両ご寄贈への御礼



至誠ホームキートス
セクションマネジャー 平田敦子

(株)常総カントリークラブ 代表取締役松浦一彦様より、福祉車両をご寄贈頂きました。車種は日産セレナで、後部にリフトが付いており、車いすのまま搭乗できるようなっています。ミニバンタイプの車両は大き過ぎず、取り回しがしやすいため、ご利用者の外出の際などには、大変便利で重宝します。

ご寄贈頂いた車でキートス特養ご利用者とさっそく昭和記念公園へ出掛けました。道すがら、「乗り心地はどうですか?」と伺うと、「快適ですね、頂いた車なの?ありがたいわね」「新しい車ね」と声を弾ませて話されていました。



ご寄贈頂いた車両と共に

昭和記念公園では色とりどりのシャトレーポピーが咲く丘や、ところどころに咲くヤマボウシの白い花



ポピーの花壇の前で窓枠のフォトスポットで撮影

を見て回りました。スイレンを見ようと向かったのですが、なかなか到着せず、ようやくついてみるとスイレンと涼しげなアヤメが咲いていました。

園内のフォトスポットで写真を撮ったり、すれ違うパークトレインに手を振って交流を楽しんだりしてました。皆様満足を、良い外出の機会となりました。

コロナ禍における約3年間、特養ご利用者が外出する機会は限られていました。規制が緩和されてからも、ご利用者や職員には一歩踏み出すことにためらう気持ちがありました。今回のご寄贈はそんな私達の背中をそっと押して下さったと感じています。

心より御礼を申し上げます。